

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 8 月 15 日(2022.8.15)

【公開番号】特開 2021-16401(P2021-16401A)  
【公開日】令和 3 年 2 月 15 日(2021.2.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-007  
【出願番号】特願 2019-131563(P2019-131563)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 8 月 4 日(2022.8.4)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、  
遊技者の動作を検出可能な検出手段と、  
遊技に関する説明演出を実行可能な説明演出実行手段と、  
前記検出手段の検出状況に基づいて、前記説明演出を制限可能な説明演出制限手段と、を  
備え、

前記説明演出実行手段は、

前記説明演出として、複数の説明段階を用いた当該遊技機の演出に関する情報を表示  
可能な第 1 説明演出と、複数の説明段階を用いた当該遊技機の遊技方法に関する情報を表  
示可能な第 2 説明演出と、を実行可能であり、  
前記検出手段により検出された遊技者の動作に応じて、前記第 1 説明演出の説明段階を進行  
させることが可能であり、  
前記検出手段により検出された遊技者の動作又は時間経過に応じて、前記第 2 説明演出の  
説明段階を進行させることが可能であり、

30

前記第 1 説明演出の説明段階と前記第 2 説明演出の説明段階とをそれぞれ異なる速度  
で進行させることが可能であり、

前記第 2 説明演出における複数の説明段階において、それぞれ異なる内容を説明する  
ことが可能であるとともに、当該複数の説明段階において説明される内容に応じて、異なる  
速度で説明段階を進行させることが可能であり、

40

前記検出手段により遊技者の動作が検出された場合、または、遊技者の動作が第 1 特定期  
間検出されなかった場合、前記第 2 説明演出の説明段階を進行させることが可能であり、  
前記第 2 説明演出は、前記第 1 説明演出と比べて、一度に表示可能な情報量が少なく、  
前記説明演出制限手段は、前記第 2 説明演出の実行が開始された後、当該第 2 説明演出が  
最終段階に進行する前において、前記検出手段により遊技者の動作が第 2 特定期間検出さ  
れなかった場合に、当該第 2 説明演出が最終段階まで進行した後に当該第 2 説明演出を制  
限することが可能である、遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0006

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

( A ) 遊技が可能な遊技機であって、  
遊技者の動作を検出可能な検出手段と、  
遊技に関する説明演出を実行可能な説明演出実行手段と、  
前記検出手段の検出状況に基づいて、前記説明演出を制限可能な説明演出制限手段と、を  
備え、

前記説明演出実行手段は、  
前記説明演出として、複数の説明段階を用いた当該遊技機の演出に関する情報を表示可能  
な第 1 説明演出と、複数の説明段階を用いた当該遊技機の遊技方法に関する情報を表示可  
能な第 2 説明演出と、を実行可能であり、  
前記検出手段により検出された遊技者の動作に応じて、前記第 1 説明演出の説明段階を進行  
させることが可能であり、

前記検出手段により検出された遊技者の動作又は時間経過に応じて、前記第 2 説明演出の  
説明段階を進行させることが可能であり、

前記第 1 説明演出の説明段階と前記第 2 説明演出の説明段階とをそれぞれ異なる速度で進行  
させることが可能であり、

前記第 2 説明演出における複数の説明段階において、それぞれ異なる内容を説明することが  
可能であるとともに、当該複数の説明段階において説明される内容に応じて、異なる速度  
で説明段階を進行させることが可能であり、

前記検出手段により遊技者の動作が検出された場合、または、遊技者の動作が第 1 特定期  
間検出されなかった場合、前記第 2 説明演出の説明段階を進行させることが可能であり、  
前記第 2 説明演出は、前記第 1 説明演出と比べて、一度に表示可能な情報量が少なく、  
前記説明演出制限手段は、前記第 2 説明演出の実行が開始された後、当該第 2 説明演出が  
最終段階に進行する前において、前記検出手段により遊技者の動作が第 2 特定期間検出さ  
れなかった場合に、当該第 2 説明演出が最終段階まで進行した後に当該第 2 説明演出を制  
限することが可能である、遊技機。

( 1 ) 遊技が可能な遊技機 ( パチンコ遊技機 1 等 ) であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段 ( 十字キーセンサ 0 5 2 F 1 0 3 等 ) と、

遊技に関する説明演出を実行可能な説明演出実行手段 ( 演出制御用 C P U 1 2 0 、図 7  
の S 1 6 2 等 ) と、を備え、

前記説明演出実行手段は、

前記説明演出として、複数の説明段階 ( 図 8 - 4 のような 3 段階等 ) を用いた当該遊  
技機の演出に関する第 1 説明演出 ( 図 8 - 2 の演出説明演出等 ) と、複数の説明段階 ( 図  
8 - 4 のような 5 段階等 ) を用いた当該遊技機の遊技方法に関する第 2 説明演出 ( 図 8 -  
3 の遊技説明演出等 ) と、を実行可能であり、

前記第 1 説明演出の説明段階と前記第 2 説明演出の説明段階とをそれぞれ異なる速度  
( 演出説明が 1 段階を 4 0 秒、遊技説明が説明段階の 1 段階を 1 0 秒、3 0 秒、または、  
2 0 秒で自動進行 ) で進行させることが可能であり ( 図 8 - 1 3 ( A 1 ) 、( B 1 ) ) 、

前記第 2 説明演出における複数の説明段階において、それぞれ異なる内容を説明する  
ことが可能であるとともに、当該複数の説明段階において説明される内容に応じて、異な  
る速度で説明段階を進行させることが可能である ( 禁止事項は禁止事項以外の遊技方法よ  
りも進行に要する期間が長い ) 。

10

20

30

40